

卷之二十一

昭和十六年十一月廿

四

1

1

四

100

10

卷之三

方發表新聞新聞稿案要綱新舊法關係令案要綱新舊法關係令

勅令案要綱ノ内容ニ付テハ同審議會ノ審議ヲ終了スル迄ハ未披トシテ新聞紙等ニ發表セザル方針ナル處、往々ニシテ審議終了後ノ發表ノ時期又ハ新聞記事指導等ニ就キ同審議會ノ庶務ヲ掌ル企畫院ト關係者トノ間ニ亂船ヲ生ジタル事例妙カラザル趣フ以テ爾今總動員法關係勅令案要綱ノ發表方法ハ左記ニ依ラレ度旨申載有之

候ニ就テハ今後貴局關係ニ於テ本件該當事項アリタル場合ハ右ニ
依リ可然御配意相成度

記

- 一、練動員法勅令案要綱ノ内容ハ原則トシテ國家練動員審議會ノ
審議ヲ終了スル迄發表セザルモノトスルコト但シ豫メ發表シテ
輿論ニ諸ル必要アル場合ハ事前ニ企畫院ト充分協議スルコト
- 二、審議會當日ノ要綱ノ發表ハ企畫院ニ於テ擔當シ審議會場ニ於
テ審議ヲ終了シタル後之ヲ行フモノトスルコト
- 三、關係者ニ於テ審議會當日當局談等ニ付發表ヲ爲ス場合ハ必ず
發表ノ時刻ヲ企畫院ト一致セシムル様豫メ充分ナル連絡ヲ爲ス
コト
- 四、發表前ニ新聞記事指導ノ爲、内示説明ヲ爲スハ整支ナキモ第
一號ノ趣旨ニ鑑ミ審議終了前ニ新聞記事トナラザル様嚴重注意
スルコト

以上